師走です　資源再利用・ごみの減量にご協力を

■…年末年始ごみ・資源収集日程…■

日程		地区	国分北・上今泉・中央1～2丁目・国分南・柏ケ谷・勝瀬	大谷・国分寺台・浜田町・東柏ケ谷・望地	中央3丁目・河原口・上郷・下今泉・中新田・さつき町	社家・今里・杉久保・中河内・中野・上河内・本郷・門沢橋
12月	燃えるごみ		28日(金)まで		29日(土)まで	
	燃えないごみ		6日(木)・20日(木)	4日(火)・18日(火)	7日(金)・21日(金)	5日(水)・19日(水)
	缶とびん		4日(火)・18日(火)	6日(木)・20日(木)	5日(水)・19日(水)	7日(金)・21日(金)
	紙と布とペットボトル		11日(火)・25日(火)	13日(木)・27日(木)	12日(水)・26日(水)	14日(金)・28日(金)
	『容器包装プラスチックと食品トレー』と『使用済み食用油』		8日(土)・22日(土)	1日(土)・15日(土)	3日(月)・17日(月)	10日(月)・24日(月)
	粗大ごみ	有料	戸別収集は定数になり次第締め切ります。お早めに資源対策課へ申し込みください。			
			持ち込みは28日(金)まで、美化センター（日・祝日は除く）で受け付けます。（受付時間：月～金曜の午前9時～正午、午後1時～4時、土曜日は午前9時～正午）			
1月	燃えるごみ		4日(金)から		5日(土)から	
	燃えないごみ		17日(木)のみ	15日(火)のみ	4日(金)・18日(金)	16日(水)のみ
	缶とびん		15日(火)のみ	17日(木)のみ	16日(水)のみ	4日(金)・18日(金)
	紙と布とペットボトル		8日(火)・22日(火)	10日(木)・24日(木)	9日(水)・23日(水)	11日(金)・25日(金)
	『容器包装プラスチックと食品トレー』と『使用済み食用油』		12日(土)・26日(土)	5日(土)・19日(土)	7日(月)・21日(月)	14日(月)・28日(月)
	粗大ごみ	有料	戸別収集は8日(火)から。申し込みは4日(金)から資源対策課で行います。			
			持ち込みは4日(金)から、美化センター（日・祝日は除く）で受け付けます。（受付時間：月～金曜の午前9時～正午、午後1時～4時、土曜日は午前9時～正午）			

※し尿・汚水のくみ取り申し込みは12月21日(金)までに資源対策課まで(ただし、ご希望に添えない場合があります)。

年末年始のごみ収集・資源回収日は上表のとおりです。12月分は、今年6月ごろ配布した『ごみ』と『資源』を出す日のカレンダーどおりです。

例年この時期は、普段よりも非常に多い量のごみが出されます。地域によっては収集時間が遅れることも予想されます。市では迅速な収集に努めますが、みなさんも資源の再利用など、ごみの減量にご協力ください。

●来年6月までの分近く配布

※来年1月～6月の『ごみ』と『資源』を出す日のカレンダーは、12月上旬に自治会などを通じて配布します。届かなかったり紛失した方には資源対策課、美化センター、各コミセンの窓口でお渡しします。

問　資源対策課（内541）。

市の窓口　年末年始の休みの日

施設名		休館期間
市役所		12月29日(土)～1月3日(木)
文化会館・市民ギャラリー・中央公民館		12月28日(金)～1月4日(金)
海老名運動公園		12月29日(土)～1月1日(祝) ※2日(水)・3日(木)は午後5時まで開館。ただし屋内プールは3日まで休館。野球場は3月末まで芝生養生のため使用できません
北部公園		12月27日(木)～1月1日(祝) ※2日(水)・3日(木)は午後5時まで開館
図書館・有馬図書館		12月28日(金)～1月4日(金)
総合福祉会館		12月28日(金)～1月4日(金)
わかば会館		12月29日(土)～1月3日(木)
青少年会館		12月28日(金)～1月4日(金)
コミセン	柏ケ谷・中新田・門沢橋・大谷	12月28日(金)～1月4日(金)
	本郷・上今泉・杉久保・社家・下今泉	12月29日(土)～1月4日(金)
	国分	12月29日(土)～1月3日(木)
勝瀬文化センター		12月29日(土)～1月4日(金)
国分寺台文化センター		12月28日(金)～1月4日(金)
市民活動サポートセンター		12月28日(金)午後4時～1月3日(木)

市議会　新体制決まる

飯田議長、橘川副議長を選出

11月14日、市議会第1回臨時会が開催され、議長、副議長の選挙が行われました。

その結果、議長は飯田英榮氏、副議長は橘川芳夫氏に決定しました。その他第8期市議会3年目の体制は次のとおりです。(敬称略。◎は委員長、○は副委員長)

総務常任委員会…◎倉橋正美、○市川敏彦、杉崎国俊、外村昭、志村憲一、鈴木輝男、三谷裕美子、渡部美憲

文教社会常任委員会…◎三田高司、○後藤晶代、坂本俊六、飯田英榮、鈴木惣太、今井和雄、白神多恵子、福地茂

経済建設常任委員会…◎矢野眸、○森田完一、重田保明、橘川芳夫、髙橋進、小保方千栄子、鈴木守、長田進治

●12月定例会の日程

また、市議会12月定例会の日程は次のとおりです。

3日(月)　本会議（議案審議）
7日(金)　総務常任委員会
10日(月)　文教社会常任委員会
11日(火)　経済建設常任委員会
13日(木)　本会議（一般質問）
14日(金)　本会議（一般質問）
18日(火)　本会議（委員会報告・議案審議）

※開会時間は3日と18日が午前9時30分、その他は9時の予定。会議の日程・時間などは変更になることがあります。

問　議会事務局（内223）。

市民生活安全対策本部を設置

万一の事態に迅速・的確に対応

市では、10月17日「海老名市市民生活安全対策本部(本部長・田口寛助役)」を設置しました。これは、今回のアメリカでの炭疽菌テロに限らず、市民生活の安全に影響を及ぼすさまざまな事態に的確に対応するために設置したものです。

同本部では、普段から海老名警察署や国・県などと連携し、市民のみなさんが安全な生活をおくれるよう、万全を期しています。

●不審な郵便物は110番通報

今回の「炭疽菌テロ」に関して、県内でもおよそ200件の通報が県警に寄せられています。大福の粉や鳥の糞、小麦粉などを炭疽菌ではないかと通報したものです。

過剰な反応をする必要はありませんが、不審物を発見したら、落ち着いて行動し、速やかに警察に110番通報してください。専門家が調べて、炭疽菌の可能性がある場合は、県の衛生研究所に送って、検査を行います。

知らない差出人から来た、中が空など不審な郵便物が届いた場合は、開封せず、振ったり、においをかいだりしないで、ビニール袋などで密封してください。粉がこぼれた場合は、触れずに、こぼれた個所全体を覆って飛散を防いでください。もし触れてしまったら、石けんで手や体をよく洗ってください。

※炭疽菌は、擦りむいた皮膚に擦り込んだり、飲み込んだり、煙霧化された霧を吸い込んだりすると、感染症を起こすことがあります。万一感染しても、適切な抗生物質の投与で発病を防ぐことができます。人から人に感染することはありません。

市内の医療機関や保険薬局には、炭疽菌、ペストなどに効く抗生物質を4万2000人分(大人1人1日分)保存しています。また、感染症に対する治療などは、県立病院や大学病院などが行います。

問　企画課（内282）。

「バイオテロに備えて」

●感染症対策講演会を開催

海老名市三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会、佐藤中会長）では、市と共催で、感染症対策講演会「バイオテロに備えて」を開催します。(後援・海老名市自治会連絡協議会)

生物化学テロに対して、市民のみなさんが冷静に対応できるように、正確な情報を提供するため、専門分野での第一人者にお話ししていただきます。

▽日時　12月8日（土）午後1時15分～4時　▽会場　市役所401会議室　▽内容　①「感染症とその予防対策（細菌学の知識、防疫について）」（講師＝大妻女子大学教授・前国立予防衛生研究所長　井上栄氏）　②「バイオテロ発生時の対応・救命救急について」（講師＝横浜市立大学救命救急センター長・教授　杉山貢氏、同講師　鈴木淳一氏）　③「行政の対応について」（講師＝市職員）　▽対象　市民の方、行政・医療関係者先着200人

申　問　12月3日(月)から電話または直接企画課（内282）へ。

海老名むかしばなし

第471話　郷土の里うた・里ことばなど(十五)

社家に起こった大蛇のうた

社家じゃ　大蛇が
焼けたじゃ　そうじゃか
ふんじゃか　真じゃか

この戯れうたは、社家の清水登美子家所蔵の「社家村之記」という書にある。その経緯を知るために、原文を抜粋し、散文調にして提示してみよう。

「社家の三島神社の神木に、樹齢千年にも及ぶ大欅があった。文政年間（一八一八～一八二九）、この木の洞穴の中に大蛇が棲みついていたが、ある日の真昼十二時ごろ、天火の為に焼けて灰になってしまった。それで、付近の人々が『社家じゃ、大蛇が、焼けたじゃ、そうじゃか、ふんじゃか、真じゃか』と唱えたという。今は、その欅の一部が残り直径三尺（九十一㌢）位になっている。大蛇の死体（灰）は、今の貫抜川ぶちの、中新田境の娘山に葬ったという」と。

なおこれに関連する、いくつかの資料があるので、順次記すことにする。

先ず神木について、「新編相模国風土記稿」は「槻樹（欅の古名）、神木なり。周囲二丈八尺（約八・五㍍）」と記す。「有馬村郷土誌」は、「名木（三島神社神木）周囲三丈八尺五寸（約十一・七㍍）高さ一丈二尺（約三・六㍍）」と載せる。

両者の樹の太さ（周囲）に約三㍍の差があり、樹高にも疑問があるが、何れにしても、県の天然記念物の指定を受けている海老名の「大ケヤキ」の七・五㍍を凌ぐ、巨木だったことは間違いなかろう。

現在の神木（大槙）は二代目

「郷土誌」は更に、「古老の伝説に依れば文政年間（紀元（皇紀）二四七八～二四八九）大蛇棲息し人民に害を及ぼすことあるに至りたるを以て天もこれを等閑視すること能はず、終に六月十三日晴天風なきの時、天火を以て焼殺せりと。今尚焼跡併びに大木たるの一部分を存せり」と述べている。

「社家村之記」にもある、大蛇が天火によって焼き殺されたという天火とは、落雷によって起こる火災をいうのであるが、ことの起こりを何れも文政年間としている。しかし、官撰である「新編相模国風土記稿」が完結したのは天保十二年（一八四一）で、「槻樹、神木なり」と記しているから、この年代にはまだ雄姿を誇っていたことになる。これは恐らく、「文政」とその後の年紀の文久（一八六一～一八六四）との誤りであろう。

大蛇の話は、「海老名市史別編『民俗』」でも採択している。抄録すると、

「…事もあろうに川に住んでいた大蛇が御神木の空洞に移り住んでしまった。そのため村中の騒ぎになった。